

大豆の適期収穫について

令和3年 10月 22日

那須農業振興事務所

- 播種時期や莢数によって成熟にばらつきが出ています。
- 成熟が早いほ場では、10月末頃から収穫が始まります。

【R3年産の収穫適期について】

適期（6月15日～7月5日）に播種したほ場では、10月末頃から11月上旬頃に収穫適期を迎える予想となっています。

また、7月中旬以降に播種したほ場では、莢数・粒数が少なく、行き場を失った栄養が茎に残り、枯れ上がりが遅くなることがあります。

莢数・粒数が多いほ場では、茎葉の栄養がなくなり、枯れ上がりが早くなる可能性があるため注意しましょう。

ほ場ごとに状態をよく観察し、収穫時期を判断するようにしましょう。

今後、降霜などの寒さにより、急激に黄化や落葉が進む可能性がありますので、注意してください。

【管内大豆の生育状況と収穫適期までの日数（10月21日現在）】

○ほ場内の葉が黄化し始めた状態 **収穫適期まで約48日**



・管内の約1割がこの状態

○ほ場内の葉のほとんどが黄化した状態 **収穫適期まで約36日**



・管内の約3割がこの状態

○ほ場内の株の4割～5割が完全に落葉した状態 **収穫適期まで約24日**



・管内の約2割がこの状態

○ほ場内の株の8割が完全に落葉した状態 **収穫適期まで約12日**



・管内の約4割がこの状態

【収穫適期】

- ・ほ場内の大豆の莢が8割～9割程度褐変し、粒の大部分が品種固有の色を呈し、莢を振って音のする状態
- ・「茎水分40%以下、子実水分18%以下」が収穫時期の目安



(参考) R2 年産大豆成熟期

茎水分の目安	
70% : 緑色が残る	
60% : 莢と同じ褐色	
40% : ほとんどの茎が黒変開始し、剥皮率30%程度 手で折ると軽くポキと折れる	← 収穫適期

子実水分の目安	
20% : 噛むと音がせず割れる	
18% : 爪を立てると少し跡が残る	← 収穫適期
15% : 噛むとパリッと割れる	

刈り遅れた場合、亀甲じわ粒が発生しやすくなり、品質低下の原因になりますので注意してください。



9月～11月は「秋の農作業安全確認運動」の実施期間です。

「自分だけは大丈夫」と思わないで、いつもの作業も安全確認を！